

『横浜の関東大震災と復興』の パネル展を開催します！

横浜でも大きな被害をもたらした「関東大震災」（大正12年9月1日発生、マグニチュード7.9）から今年で99年が経過します。

今回は被害が大きかった「橋りょう」をテーマとし、関東大震災のおきた当時の横浜の街を上空2,500～4,000メートルから撮影した航空写真を現在の地形図に重ね合わせ、当時の被害と復興の様子が分かるパネル展を開催します。

パネル展では、「ジオ神奈川」の協力による、災害当時や復興の様子についてのパネル展示解説等をあわせて行います。

日時：令和4年9月1日（木）から9月17日（土）まで

場所：横浜市民防災センター 訓練室南（予約不要、入場無料）

【主催】横浜市（消防局横浜市民防災センター）

【共催】ジオ神奈川（関東大震災の調査、研究を行っている団体）

国立研究開発法人防災科学技術研究所 自然災害情報室

《プログラム》

- 9月1日（木） 9:30～12:00
上記時間ジオ神奈川のスタッフが常駐し、パネルの解説を行います。
- 9月7日（水） 14:00～15:00
トーク～過去の教訓が生きた横浜公園～
- 9月10日（土） 14:00～15:00
トーク～関東大震災と橋りょうの復興～
- 9月17日（土） 12:00～12:20/14:00～14:20
トーク～関東大震災・110才の伝言～

《展示内容》

- 航空写真で見る関東大震災
 - 当時の大栈橋と震災直後の大栈橋
 - 当時の横浜市庁舎の火災の様子
 - 当時の横浜港周辺の様子
 - 当時の横浜駅と現在の横浜駅
- ほか



左：関東大震災で破壊された大栈橋（税関栈橋）

右：当時の横浜市庁舎の火災の様子
（2代目市庁舎 明治44年～大正12年）



●横浜市民防災センター案内図●



所在地：横浜市神奈川区沢渡4-7

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※取材を希望される場合は、事前に下記お問合せ先にご連絡のうえ、取材場所へお越しください。

お問合せ先

消防局横浜市民防災センター所長 渡邊 史子 Tel 045-312-0119